

○ データ連携基盤構築及び地域交通支援制度の整理に係る指示事項

区分	データ連携基盤構築の検討	地域交通支援制度の検討
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・実証運用する地域（広域的な地域公共交通計画の対象区域）を最低1地域提案すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道内バス事業者・市町村とすること。
内容	<p>【データ連携基盤構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構築内容は以下を想定しているが、詳細は提案事項とする。 ・データ基盤機能（データ登録・公開）と分析機能（データを分析・可視化）の2つに区分すること。 ・データ基盤機能に必要なデータを格納し、分析機能と連携して利用すること。 ・データ基盤機能は、道内バス事業者の多くが利用（GTF Sデータを格納）を想定している一般公開された既存サービスを活用すること（道が指定する無料で利用可能なサービス）。 ・分析機能は、ブラウザで利用可能なシステムとして、乗降データ、路線データ、系統データ及び人流データ等の各種データを統合し、分析を自動化できるシステムとすること。 ・今後、北海道や他の機関で整備済み若しくは整備予定の他のシステムとの連携等を可能とするため、外部サービスとのデータ接続性を担保すること。 <p><データの取得等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実証運用で活用する分析データについて、データ基盤機能等との取込・更新・作業を行うこと（取得の際にデータの利用契約等の作業が生じる場合はその対応も行うこと。）。 ・参考2の「活用する分析データ」を想定しているが、より充実した分析機能となるよう他データの活用を提案すること。 <p><現金乗車データの取得></p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス等の現金利用者の乗降実態を把握する方法があれば可能な範囲で提案すること。 <p><分析機能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考2の「活用する分析データ」について分析できる機能を作成すること。具体的には参考3の「分析機能」を想定しているが、実証地域で事業者や市町村等にアンケート調査を実施して、新たな機能を5件程度追加すること。 <p><機能改善></p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成品を作成する前に、北海道及び実証地域のバス事業者・市町村に試験運用を実施させ、要望に応じて操作性、視認性の改善等を継続的に実施すること（改善にあたっては北海道と協議の上、作業を行うこと。）。 <p><アクセスアカウントの作成></p> <ul style="list-style-type: none"> ・分析機能へのアクセスアカウントの発行について、次年度以降のランニングコストを抑えるためより安価な方法を提案すること。なお、複数利用者が同時にアクセス可能なものとする。 <p><利用環境等の維持管理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・分析機能の運用に関して、受託者は監視等を適切に実 	<p>【地域交通支援制度の詳細検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利便増進実施計画策定の促進、エリア一括協定運行事業の促進、共同経営計画策定の促進、関係者間の調整支援、事例と効果・手順の周知、広域的な路線への支援といった新たな地域交通支援制度を道が検討するにあたり、詳細な検討を支援すること。

	<p>施し、契約期間中、正常に利用できるような利用環境等を維持管理すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポート対応や障害発生時の問合せ窓口として、電話及び電子メールにより対応できるようにすること。 	
伴走支援	<p>【伴走支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伴走支援の内容は以下を想定しているが、詳細は提案事項とする。 <p><操作マニュアルの作成></p> <ul style="list-style-type: none"> ・受託者は、分析機能の操作等に関して、操作マニュアルを作成すること。 <p><利用者への機能・操作説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・受託者は、利用者である実証地域において、事業者・市町村がデータ分析を円滑に行えるよう、機能、操作方法、課題抽出方法、課題解決方法等に係る説明会を実施すること。 ・受託者は、分析データや分析結果を踏まえたシミュレーションを行い、その結果に基づき、ダイヤ改正案、路線の再編、代替交通の導入など、移動需要の予測等を踏まえたデータ活用方法を説明すること。 <p><支援制度の説明会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ連携基盤に係る説明会と併せて、最適化に関する支援制度の説明会を北海道運輸局等と連携しながら実施すること。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・国における「地域交通 DX 推進プロジェクト「COMmmONS」」といった取組との連携及び整合を図ること。 ・スケジュールに関しては、3（3）の業務と合わせて整理することとし、遅延なく各検討を進めることができるようにすること。 	

